



らの  
イナん

#18

My Favorite 華子★編

著: 藍澤たすく

イラスト: かもめ遊羽

## らのけんってどんなお話?

三郷<sup>みさと</sup>学園高校「ライトノベル研究部」

——通称らのけん。

それは世にあふれるラノベを読みまくり、また自らも書きまくり、総合的にラノベへの造詣を深めることを目的とした志<sup>こころ</sup>しの高い部活動……。のはず、なんだけれど……。アレ? 実際フタを開けてみたらなんか思ったよりゆるくない?

だがしかし! それこそが「らのけん」の魅力! という感じで展開するまったく系日常部活コメディなのです!



緑川萌

ラノベと動物をこよなく愛する素直でまっすぐな女の子。その直情径行さゆえに突っ走ってしまうことがあるのはご愛嬌。



白井華子

らのけん顧問教師……。のはずが、見た目が一番幼いのため、部員からも「華ちゃん」と呼ばれ親しまれる癒し系な存在。覆面ラノベ作家一条れんとしても活躍中!



赤城操

クールビューティーな眼鏡っ子。微に入り細を穿つ綿密な設定作りには、らのけん内でも定評がある。校正能力もプロ並み。



黒田美玖

愛情表現がセクハラチックなボーイッシュ女子。いつもそのターゲットにされる華子の苦労は、推して知るべし。何気にミステリラノベ好き。



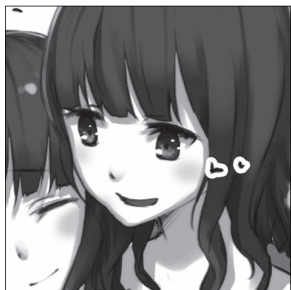
紺野司

ラノベ作家としての華子、つまり一条れんを担当する編集者。AG文庫編集部に所属。天然な華子の創作活動を、陰に日向に支えてくれる心強い存在。



青山一斗

らのけんの黒一点。なんにでもすぐに首を突っ込みたがる好奇心旺盛な性格の持ち主。



白井咲耶

華子の弟であり、かつ男の娘。見た目は華子そっくりでまるで双子のよう。  
※ただしサイズは全然違う模様。



蔵内豪三郎

本名は蔵内・マリアンヌ・葉子。華子のデビュー作まんみのイラストを担当するイラストレーター。華子にやや危険な方向の好意を抱いている御様子……？



「おう！ 華子<sup>はなこ</sup>、いるー!? 今度友達が舞台やるんだー、一緒に観<sup>み</sup>に行こうぜー！」

とある放課後の、らのけん部室。

勢いよく開け放たれた部室のドアから、氷川英子<sup>ひかわえいこ</sup>が入ってきた。彼女は華子の幼なじみの大親友であり、駆け出し<sup>かかけだ</sup>の新人声優でもある。

「あ?」

「あ?」

英子と、部室の中に居たある人物とが同時に声をあげる。

「何しに来たのよ、このガサツ女。あんた、学校辞めたんでしょ? じゃ、ここに用はないはずよね? とりあえず部外者は帰ってもらえますかあ? はい、しっしっしっしっ」

英子に辛辣<sup>しんろう</sup>な言葉を浴びせるのは、華子の弟……といっても男の娘<sup>おとこ</sup>なので外見はまるつきり女子<sup>しんじょ</sup>なのだが……の白井咲耶<sup>しらいさくや</sup>だった。

「部外者はあんたも同じでしょーが! この男女<sup>おとこおんな</sup>!」

「なにをー!」

「がるるるるるるるるー!」

言うが早い二人は顔をつき合わせて、お互いに威嚇<sup>いかくこうど</sup>行動を取り始めた。のっけからなにやら不穏<sup>ふおん</sup>な雰囲気だ。

「ちよ、ちよつと二人とも落ち着いて……」

突然昔の話を持ち出された華子は恥ずかしさに思わず頬を朱に染めた。

「へー、華ちゃん、くまごろーちゃんと一緒じゃないと寝られなかったんでちゅかー、かつわいーでちゅねー」

「昔の話です！　だ、誰だつてあるでしょう!?　子供の頃は！」

今までのこの事態に無関心そうな態度で文庫本を読んでいた美玖が、突然ニヤニヤしながら華子の頭を撫でてきた。対する華子は「ムキー！」といった表情で両手をばたばたさせている。

「はいはい、わかったわかったー。じゃあ、今度はあたしが華ちゃんのくまごろーちゃんになってあげるからねー」

「ちよ、ちよっと黒田さん、離れてください！」

ナチュラルにセクハラに移行しようとする美玖から、華子は慌てて離脱する。

そしてそんなことには一切構わず、英子と咲耶のバトルはさらに白熱の度を増していく。

「それじゃ、華子姉の一番の好物つて知ってる？　ガサツ女さん？」

「勿論よ！」

英子はどんと胸を張る。

「華子の大好物は四条屋の大福餅よね？　小六の夏休みなんかそればかり食べてて10キロぐらい太つて2学期迎えたもんね！　丸々と肥えきつたまあるい華子……あれはクラス中でも大事件だったわー」

「あ、あわわわ……」

突然、過去の黒歴史を暴露されて硬直してしまう華子。

「へー、華ちゃん10キロも太ったんだーすごいねー」

「む、昔の話です！　そ、それに今はもう標準体重ですし！」

感心(?)する一斗に華子はムキになって抗弁する。

そんなことに頓着する様子もなく、英子と咲耶の言い争いはエスカレートする一方だった。

「……じゃあ、これは知ってる？　華子の初恋の相手！」

「むぐつ……そ、それは……」

言葉に詰まる咲耶の様子を見て、英子は満足そうな笑みを浮かべる。

「なにに？　もしかして知らないの？　知らないで『血の濃さ』がどーとか言ってたの？　ふふっ、笑わせてくれるじゃない。所詮あたしと華子の絆と、あなたのそれとじゃ比べ物にならないってことよ！　判った!？」

「くっ……じゃ、じゃあ、あんたは知ってるって言うの!？」

「勿論よ！」

唇を噛んで悔しがる咲耶に、英子は勝ち誇った顔で続けた。

「華子の初恋の相手はねー、あたし達が小二の頃アニメ放送してた『スターマインド・クルセイダーズ』のピボット様よ！」

「まさかの二次元!？」

驚愕する咲耶をよそに、英子は朗々とその先を続ける。

「んで、小三の頃は『サマーセット・タイム』のケン様でしょ、小四の頃は『アンドロメダ・ラプソディ』のシュレッド様だったわよね。ねえ、華子？ 合ってるでしょ？ どうよ、参った？ あたしの方が華子のこと、よく知ってるんだもんね、愛してるんだもんねー！」

「あ、あたしの方が絶対華子姉のこと愛してるもんね！ そ、そうだ！ 華子姉は小六までおねしょしてたんだよ！ これはさすがにあんたも知らなかったでしょ？ このガサツ女！」

「なん、だと……」

それは知らなかった、と判りやすく顔に浮かべて唇を噛む英子。  
そして。

「……がるるるっ！」

また振り出しに戻ってしまった。

これはどうにも埒が明きそうにない。

「くっ、こうなったら華子本人に訊くのが一番だわ！」

「そうよ！ あたしとこのガサツ女とどっちが好きなの、華子姉！」

目を血走らせながら華子に詰め寄る英子と咲耶。

らのけん部室にしばしの静寂が訪れる。

「……らいです……」

「え？ なに、華子？」

「ちゃんとやってくれないと聞こえないよ、華子姉！」

さらに華子に詰め寄る英子と咲耶。

「どっちも嫌いだって言ったんですー!!」

華子はぱんつとテーブルを叩いて立ち上がった。

その瞳には静かだが、確固たる怒りの炎が湛えられている。

「なんですか！ さっきから聞いてれば人のプライバシーを勝手にべらべらべら喋って！ そんなデリカシーのない人たちはあたし大っ嫌いです！ 日曜日の舞台もショッピングもどっちとも行きません！ ひえちゃんも咲耶も大っ嫌いです！ 判ったらとっとと出てってくださいー!!」

言うが早いか、英子と咲耶は華子の怒りパワーによってあつという間に部室の外に押し出されてしまった。

続いてガチャンと無情な施錠音がドアから響いてくる。

どうやら華子はガンとして開けるつもりはないようだ。

英子と咲耶はしばし呆然としたまま部室前に佇んでいた。

「……ねえ、知ってる？ ガサツ女？」

「……なによ、男女？」



「華子姉が一度本気で怒ると、なかなか機嫌が治らないってこと……」

「勿論 知ってるわよ……………あの調子だと1週間は口きいてくれそうにないわね……」

「そうね……」

「やっぱそうよね……」

沈黙する二人。

「とりあえず四条屋の大福餅でも買ってきますか……」

「名案ね、ガサツ女……あたしもそれ、割り勘で買わせてもらうわ……」

英子と咲耶はとほととした足取りでらのけん部室をあとししたのだった……。

つづく

●「らのけん！」シリーズ掲載号一覧

★2014年

- |                           |   |                  |
|---------------------------|---|------------------|
| G A 文庫マガジン7月24日配信号…らのけん！  | 2 | 夢の最終選考編          |
| G A 文庫マガジン9月合併配信号…らのけん！   | 3 | はじめてのおつか……うちあわせ編 |
| G A 文庫マガジン10月27日配信号…らのけん！ | 4 | 思い切って告白しちゃうぞ編    |
| G A 文庫マガジン11月27日配信号…らのけん！ | 5 | ペット攻めたり編         |
| G A 文庫マガジン12月25日配信号…らのけん！ |   |                  |

★2015年

- |                          |    |                    |
|--------------------------|----|--------------------|
| G A 文庫マガジン1月22日配信号…らのけん！ | 6  | はじめての発売日編          |
| G A 文庫マガジン2月26日配信号…らのけん！ | 7  | かんこれ、始めました編        |
| G A 文庫マガジン3月26日配信号…らのけん！ | 8  | MISAO STRIKE BACK編 |
| G A 文庫マガジン4月24日配信号…らのけん！ | 9  | はじめてのごあいさつ編        |
| G A 文庫マガジン5月28日配信号…らのけん！ | 10 | その薔薇の名は……編         |
| G A 文庫マガジン6月25日配信号…らのけん！ | 11 | 咲耶、襲来！ 編           |
| G A 文庫マガジン7月23日配信号…らのけん！ | 12 | ライトノベルが出来るまで編      |

G A 文庫マガジン 8月21日配信号…らのけん!	13	もつとも冴えた3つのお題編
G A 文庫マガジン 9月18日配信号…らのけん!	14	華子、風邪をひく編
G A 文庫マガジン 10月22日配信号…らのけん!	15	はじめての対談編
G A 文庫マガジン 11月12日配信号…らのけん!	16	華子の一番辛せな日編
G A 文庫マガジン 11月26日配信号…らのけん!	17	敏腕編集・紺野司の一番長い日編